

平成 28 年度

健康部 長寿社会推進室の運営方針

<担当事務>

- (1) 高齢者福祉に関すること。
- (2) 介護保険に関すること。

<部の職員数>H28年4月1日現在

正職員	42名
再任用職員	1名
任期付職員	-名
非常勤職員	28名
合計	71名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

長寿社会推進室は、健康寿命の延伸をめざすとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケア体制の構築に向けた取り組みを進めています。

平成 28 年度は、平成 27 年 3 月に策定した「ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 6 期）」に基づき、介護予防・日常生活総合支援事業の平成 29 年 4 月実施に向けた基盤整備や自立支援型地域ケア会議を開催するとともに、「ひらかた元気くらわんか体操」を活用した介護予防の取り組みを進めます。また、認知症ケアパスを配付し、認知症についてのさらなる啓発や誘導を行うとともに、認知症サポーター養成講座の開催や、「認知症カフェ」を設置する法人等への支援、市民後見人の養成など、認知症対策の取り組みを進めます。

2. 重点施策・事業

(1) 保健・医療・介護・福祉等連携強化事業

重点施策・事業 における目標	地域において保健・医療・介護・福祉が連携できる体制を構築するために、地域ケア推進会議を開催するほか、ケアマネジメント向上のための多職種による検討会議の取り組みを進め、認知症施策や地域ケア会議での課題検討を行い、住み慣れた地域で高齢者が安心して在宅生活を継続することができる環境の整備を行います。
平成 28 年度の 取り組み	自立支援型地域ケア会議のブロック毎での開催を順次行うとともに、多職種連携会議を 13 の日常生活圏域で開催することで、地域での課題検討や市全域での体制整備に向けたさらなる取り組みを進めます。 平成 28 年度当初予算：384 千円

(2) 認知症総合事業

重点施策・事業 における目標	高齢者が認知症になっても地域の中で尊厳を持ち、安心して暮らせるよう、認知症についての理解者である認知症サポーターを引き続き養成します。 また、「認知症初期集中支援チーム」の取り組みを推進するとともに、認知症の状態に応じた適切な介護サービスや医療提供の流れを示した「認知症ケアパス」の配付・活用に取り組みます。 さらに、認知症カフェ設立を支援するなど、認知症の人々及び家族への支援の取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	新たに作成した「認知症ケアパス」を関係機関窓口の設置及び認知症サポーター養成講座等で配付し、認知症の理解と早期支援に向けた取り組みを進めます。また、認知症カフェ設立を推進するためのスタッフ研修等の支援を行います。 平成 28 年度当初予算：6,539 千円

(3) 枚方市市民後見推進事業

重点施策・事業 における目標	認知症などで判断能力が十分でない人の生活支援として、今後利用の増加が見込まれる成年後見人制度の新たな担い手として、親族以外で後見を行う「市民後見人」を養成する「市民後見人養成講座」を開始し、市民後見人の育成・支援を行っていきます。
平成 28 年度の 取り組み	市民後見人として活動していただける市民の育成を行うため、大阪府社会福祉協議会と連携し、「市民後見人養成講座」を開催します。なお、講座修了者については、選考委員会などを経て、市民後見人バンクへ登録されます。 平成 28 年度当初予算：1,500 千円

(4) 介護予防事業

重点施策・事業 における目標	高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって健やかに暮らすことができるよう、介護予防についての動機付けや習慣化を目的とした従来の事業のほか、柔軟性・筋力向上・認知症予防に効果的なラジオ体操・ロコモ体操・ひらかた体操を組み合わせた「ひらかた元気くらわんか体操」を活用し、地域を基盤にした継続的な健康づくり・介護予防活動の支援を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	高齢者が参加しやすい身近な場所で介護予防教室を開催し、健康づくりへの意識を高める取り組みを進めます。 平成 28 年度当初予算：8,920 千円

(5) 介護予防ポイント事業

重点施策・事業 における目標	元気な高齢者の社会参加を促進し、健康寿命の延伸とともに、地域の介護力を高めることを目的とする「枚方市介護予防ポイント事業」の拡充を図っていきます。
平成 28 年度の 取り組み	サポーター養成研修会及び現任サポーターへのフォローアップ研修会を開催し、サポーター数の拡大を図るとともにサポーター活動のさらなる充実を図ります。 また、サポーターの受入先となる施設の拡大を図ります。 平成 28 年度当初予算：8,616 千円

(6) 街かどデイハウス事業

重点施策・事業 における目標	身近な地域で住民参加型の福祉活動を行う街かどデイハウスを増設するなど、事業の充実を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	街かどデイハウスに対する支援を行うとともに、現在街かどデイハウスの設置がない生活圏域において、1カ所の増設を行います。 平成 28 年度当初予算：43,500 千円

3. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	シルバー人材センターについて、平成 27 年 3 月に策定された「いきいき 21 世紀プラン（中期計画）」に基づき、自立運営に向けた取り組みを促す。
42. くずは北デイサービスセンターの民営化	指定管理者制度により運営している「くずは北デイサービスセンター」について、介護事業者等による施設整備やサービス提供の状況を踏まえ民営化に向けた検討を行う。

(2) 業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートを実施し、結果を踏まえて対応改善を行うとともに、窓口マニュアルを活用し市民満足度の向上に努める。

4. 予算編成・執行

- ◆ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第6期）に基づき、適正な予算編成・執行に努めます。

5. 組織運営・人材育成

- ◆頻繁に実施される法令改正に迅速に対応できるよう情報把握に努め、朝礼時や定期的な会議の場を有効活用し、多様な事象への初期対応、初動体制等について確認し合い、優れた対応力の育成に努めます。

6. 広報・情報発信

- ◆閲覧者が知りたい情報をわかりやすく整備するとともに、速やかに目的の情報にアクセスできるよう、閲覧者の利便性向上に努めます。また、画像やイラストを活用することで、わかりやすく読んでいただけるホームページをめざします。